

2017年6月30～7月2日 四日市東日本大震災支援の会 第43回派遣 熊本災害ボランティア

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

九州で大規模な災害が発生し、尊い命が犠牲になり、多くの方が家を失って仮設住宅での不自由な避難生活を強いられています。支援の会では、仮設住宅での生活を開始した約300世帯の皆さんのコミュニティづくりを支援する交流会を開催しました。

<活動概要>

■西原村仮設住宅でのお茶会&足浴交流会（B・C棟2か所の集会所で開催）

費用負担など

高校生・大学生12,000円（学生スタッフ6,000円、ドライバー0円）

★活動日の昼食・夕食を支給（その他の食事は各自負担）

★宿泊(素泊まり)；熊本県山鹿市山鹿1838「旅館巳喜(みき)」電話0968-43-5178

<参加者>19名

四日市大学学生7名、教員1名、四日市看護医療大学学生6名、三重大学学生1名、
鈴鹿医療科学大学学生2名、消防士1名、卒業生1名

<スケジュール概要>

★6月30日(金)

20:00 四日市大学9号館集合

20:30 四日市大学出発（四日市大学学生駐車場）

★7月1日(土)

9:00；仮設住宅到着

9:30～16:00 ボランティア⇒ 旅館巳喜 入浴&宿泊（夕食は旅館で支給）

★7月2日(日)

6:30 旅館出発 帰路 ⇒ 18:00 大学帰着

<助成金>

赤い羽根中央共同募金会の「ボラサボ九州」の助成を受けて活動しました。



足浴&ハンドマッサージ



子供と遊ぶ学生



熊本の木材を活かした集会所



子供と遊ぶ学生



子供たちが見送りに



大学に帰着して記念撮影



旅館での懇親会、この後に岩手出身の学生から被災体験を聴く